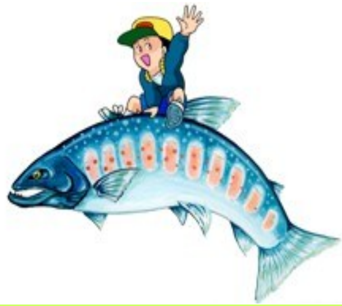
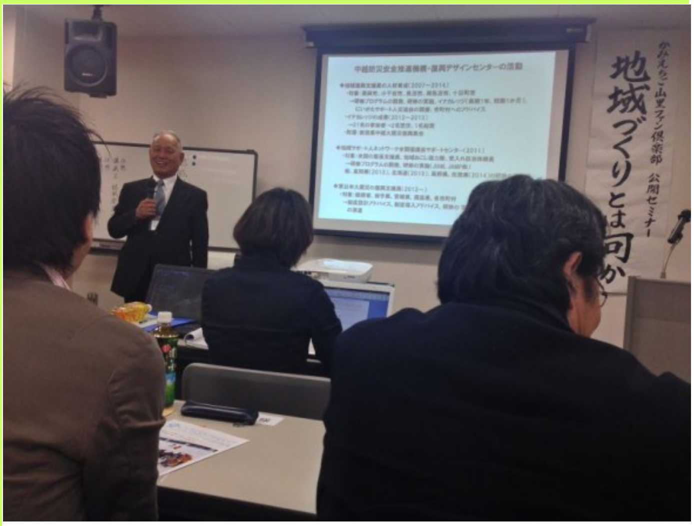


第10号
発行日　2014年4月25日

# 月刊 おおとり協力隊 新聞

## かみえちご山里ファンクラブ公開セミナー(新潟県上越市)に参加してきました。

『地域』とは何でしょうか？集落の集まりなどで度々話にでる「地域で頑張ろう！」などの言葉。もはや暗黙知になっている『地域』という言葉をあえて問いなおすテーマの講和を聞いてきました。地域とは何か…。民族研究家の結城登美雄氏が言うには、地域は「家族の集まり」だということ。家族は英語で「family」。これは「farmer(農家)」と語源が同じそうです。一緒に耕し、一緒に食べることが家族である。結城氏が言うように地域が家族の集まりだとしたら、大鳥＝大家族なのかもしれません。思い返してみれば、大鳥では皆で草刈りや沢水の整備をし、イベントも盛り上げてきた。そんな暮らしの在り方がこれからも続いていけばと思う(田口)




## 地域おこし協力隊の活動報告会開催！

協力隊が大鳥で暮らし始めてから早いもので1年弱が経とうとしています。自省の意味も含めて1年の報告と今後の活動方針についてお話をさせていただきました。

発案時は集落の人たちだけで緩～く行う予定が、あれよあれよと話が広がり･･･。私たちの知らないところで、市長にも足を運んでいただくようなお話が進んでいたようでビックリしました。

皆さん私たちの拙いお話に真摯に耳を傾けていただきありがとうございます！今年度も多くのご意見・ご指摘をいただきながら、皆さんと大鳥で楽しく暮らしていければと思っています。(砂山)

## 田口隊員連載コラム　「大鳥に恋して♪」

生まれて初めて、『死ぬ』思いをしました。先日、初めて春の熊狩りに連れて行ってもらったのですが、熊を獲り、20kgはある熊の毛皮を背負って山を下り続け2時間がたち、日が落ちた頃。ヘッドライトを借り、足跡を辿りながら雪の斜面を何とか歩いていたら、「ズズズズー」と足を滑らせてしまった。一瞬、何が起こったのかわからなかった。「たぐちーーー！！！」と呼ぶ声。我に返り、足元を見てみると、川の濁流に飲み込まれるまであと2メートルというところまで来ていた。本当に死ぬかと思った。足が震え、声を失う、初めての体験。山の厳しさ、恐ろしさを全身で感じながら、大鳥の人たちには改めて敵わないと感じた。でも、また山に入りたい。山に立ち向かうマタギがより一層、輝いてみえたから。

【協力隊勤務　今年度からの変更点に関して】

これまでの勤務制度から若干の変更がありましたのでご報告します。

・「副業可」
身分が「非常勤一般職」から「非常勤特別職」に変更となり、副業を行えるようになりました。農産物の販売やお手伝いの報酬も受け取りが可能となりました。

・「勤務日・時間」
週30時間勤務は変わらないものの、週の中でより柔軟に勤務日・勤務時間を設定できるようになりました。

ご不明な点があればお気軽に協力隊まで。

## 第29回タキタロウ祭りに向けて準備始まる！

残雪の溶けるスピードが増してきてタキタロウ広場も7割以上地面が見え始めてきました。大鳥最大のイベントを迎える季節が近づいてきています。

大人気の魚のつかみどりコーナーはもちろん、ボートあそびやカヌースクールなどの川遊びや、すぐに売り切れてしまう採れたて山菜の販売など･･･今年も祭りを成功させるべく、集落代表の方々と朝日庁舎の皆様と会合を重ねています。

今年は「大鳥宣伝部」という部門が新設されます。従来のタキタロウ伝説のお話にマタギ文化が加わったり、てんご編みの紹介コーナーを設けたり･･･大鳥の文化の一端を皆さんにご紹介する予定です。
第30回記念に向けて弾みのつくお祭りになればと思います。（砂山）

## 砂山隊員連載コラム「食・住・職」

田口君が熊狩りに参加して山で死にかけていた時、私はノンキに「温海さくらマラソン」の10㎞コースを走っていました。

人生で初めてのマラソン大会エントリー。トレーニングもそこそこに参加したため、不安も大きく･･･。が、いざ走ってみると延々と続く山登りの苦しさ以上に楽しさがありました。完走時の充実感はヤミツキになりそう･･･欲が出てきてハーフに挑戦しようかなぁ、なんて思いも出てきています。（ハーフはまた世界が違うらしいです。）

大鳥で生きる以上は「健康」「体力維持」「自己管理」は最低条件。その考えは日々強くなっていきます.マラソンはあくまでキッカケ。これからも無理せず負担にならない形で自身の体と向き合っていきます。

## 消防の『し』の字も知らない協力隊が消防団に入団！

**地域防災。そんな言葉を聞いたのは大鳥に来てから。事件が起これば警察に、火事が起これば消防署に連絡し、どうにかしてもらうことが当たり前だと思っていた僕が、まさか消防に携わることになるとは思ってもいなかった。4月13日に鶴岡市全体で200人以上の新人消防団員が集められ、入団式が行われました。市長や消防長、警察署長からもご挨拶を頂き、身が引き締まる。地域でできることは地域で行う。そんな朝日に生きる人たちにとって当たり前の心構えをこれから少しずつ学ぶことになります。いざという時に活躍できるよう日々精進していきたいです。（田口）**


大鳥HP『大鳥days』随時更新中
http://ootoritakitarou.info/

発行元：大鳥地区地域おこし協力隊
住所　：鶴岡市大鳥字寿岡１１２(大鳥自然の家)



隊員連絡先
砂山隊員：080-5099-5596
田口隊員：090-7757-7491